



「～お金は一人ひとりの夢と より良い社会の実現のために～プロラボの活動」 特定非営利活動法人 暮らしとお金の Pro-Lab.

代表理事 尾関 さゆり



理事 中部 絵美

1 はじめに

「生まれた瞬間から人生を全うするまで、お金に関わらずに生きていけない世の中だもの、『暮らしとお金』に特化した研究会があってもいいよね」。平成 21（2009）年、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会（当時）＝通称 NACS 中部支部で、消費生活アドバイザーとして出会った私たちは、自主研究会「暮らしのおかね研究会」を設立して活動を開始しました。会員である消費生活アドバイザーや消費生活専門相談員を対象に、講師を招いた金融商品に関するセミナーや相談対応の際に必要なカウンセリングについて学びを重ねました。

平成 25（2013）年、活動の場をさらに広げるために中部・尾関が NACS を退会し、任意団体「暮らしとお金の Pro-Lab.（プロラボ）」を設立。持続可能な活動を目指して法人化することとし、顧問として多重債務問題に詳しい瀧康暢弁護士に加わっていただき、平成 26（2014）年に特定非営利活動法人暮らしとお金の Pro-Lab. を設立しました。またこの年からゆうちょ財団様の金融教育助成制度を利用させていただくことになりました。

2 活動はご縁から

中部が以前勤務していた名古屋市消費生活センターでは、消費者教育を行なっていましたが、知的障害者向けの講座はしていませんでした。ある日、社会福祉法人「名古屋手をつなぐ育成会」の方々がセンターに来られ、「知的障害のある子どもを持つ親向けに悪質商法と対策について話をしてほしい」という依頼がありました。親向けの講座を行っているうちに、本人にも身の守り方を教えることが必要だという方向へ話が進み、本人向けの悪質商法対策講座が始まりました。

そしてさらに進んで、知的障害があっても、自分でお金を使うことの意味と金銭感覚を養うという観点から金銭教育を実践することになりました。

このご縁をきっかけに、「名古屋手をつなぐ育成会」の「そだつ・はたらく部会」や、就労移行支援事業者と連携ができ、知的障害のある学齢期の子、成人とその保護者、支援者を対象にした幅広い金銭教育活動を展開することとなりました。

3 チェックシートの開発

NPOの仲間になってくれた育成会の山口美佳（名古屋市知的障害者相談員）の発案で、知的障害を持つ子とその保護者のための「家庭でできる金銭教育ツール」を開発・作成することを目的として、保護者と一緒に子供の障害に合わせたツールを検討するワークショップを開催する

ことになりました。育成会の会員100名へのアンケートをもとに「金銭に関する力」をチェックするシート1、「子どものおこづかいを考える」シート2、「子どもを育てるためのお金を洗い出す」シート3を作成。子どもに関するお金を考えるときには、このチェックシートを使って講座を実施しています。【図1】

図1 チェックシート1～3を使った講座の一例（抜粋）

The figure displays a series of 12 presentation slides arranged in a 4x3 grid. The slides are as follows:

- Slide 1 (Top Left):** Title slide for 'TGW親の会 子どもとお金・子どものお金・子どもへお金'. It includes the date '2019年10月25日(金) 10:00-12:00' and the location '名古屋Pro-Lab. 6階 さやう OZEN Sayuri'.
- Slide 2 (Top Middle):** Title '今日お話しすること' (What we will talk about today). It lists five points: 1. 子どもとお金, 2. 子どもが使うお金はいくら?, 3. 子どもと考える「もし一人暮らしをしたら」, 4. 子どものライフプラン, 5. 子どもへお金.
- Slide 3 (Top Right):** Title '子どもとお金・子どものお金を 見える化する' (Visualizing children's money). It discusses the importance of understanding children's income and expenses.
- Slide 4 (Second Row, Left):** Title '寄せられた 状況と課題' (Collected situations and issues). It lists several points related to children's financial literacy and management.
- Slide 5 (Second Row, Middle):** Title '1. 子どもとお金 チェックシート1' (Check Sheet 1). It describes the purpose of the sheet: to understand children's pocket money usage.
- Slide 6 (Second Row, Right):** Title 'チェックシート1の使い方' (How to use Check Sheet 1). It shows a diagram of the sheet's layout and usage instructions.
- Slide 7 (Third Row, Left):** Title '1. 子どもとお金 チェックシート2' (Check Sheet 2). It describes the purpose: to think about children's pocket money.
- Slide 8 (Third Row, Middle):** Title 'チェックシート2の使い方' (How to use Check Sheet 2). It shows a diagram of the sheet's layout and usage instructions.
- Slide 9 (Third Row, Right):** Title '1. 子どもとお金 チェックシート3' (Check Sheet 3). It describes the purpose: to wash out money for raising children.
- Slide 10 (Bottom Row, Left):** Title 'チェックシート3の使い方' (How to use Check Sheet 3). It shows a diagram of the sheet's layout and usage instructions.
- Slide 11 (Bottom Row, Middle):** Title '1. 子どもとお金 チェックシート3' (Check Sheet 3). It describes the purpose: to wash out money for raising children.
- Slide 12 (Bottom Row, Right):** Title 'チェックシート3の使い方' (How to use Check Sheet 3). It shows a diagram of the sheet's layout and usage instructions.

4 年代別・対象別の講座

ゆうちょ財団様の助成を受ける講座に加えて、企業の特例子会社での講座、基幹相談支援センターからの依頼など活動が少しずつ広がりました。保護者や支援職の方との話し合いの中で年代ごとにさまざまな課題が浮かび上がり、一つの講座ごとにその課題に向き合った内容を考えています。【図2】

図2 年代別のお金の課題
(保護者アンケート、支援職からの聞き取りによる)

子どもの頃のお金の課題

- お金に関心がない
- ほしいものがない
- 好きなものだけを買う。それ以外には興味がない
- お金の単位や「いくらくらい」がわからない
- 計算が苦手で、買い物に困難がかかる
- お金を使うのが好きで、持っているだけで使ってしまう
- お釣りが少ないように払うことが苦手で、紙幣を出すので財布に小銭が貯まる
- 自給自足で済むのが好きで、必ず買いたがる
- 割り勘ができないので、いつも人の分まで払ってしまう
- 友だちにお金を貸したり、おごられることがある
- 小遣いのルールを決めるのが難しい
- 子どもにお金管理をどう教えてよいかわからない

2020/03/12 鹿児島県福祉会

大人になったら出てくる課題

- 将来の暮らし方(実家・GH・一人暮らし)がまだ定まらない
- どこまで子どもが金銭管理できるかわからない
- お金の価値がわかっていないと感じる
- 給料をもらっても、明細を全く見ない
- 自分がどれだけ収入があり、いくら使っているかなど
お金の流れがわかっていない
- 申し込み後、銀行の手続きができないと思われるので
どうしてあげるのよいか心配

2020/03/12 鹿児島県福祉会

就労移行支援事業所と グループホームでの課題

- お金をすぐに使ってしまう、貯金ができない。このまま高齢期をわがえることになるが
- 困窮が先行かといううちにスマホを何台も契約していた。
- スマホ決済をしており、多額の支払いが発生していた。
ビデオチャットに夢中になり高額の利用料がきた
- いつの間にかクレジットカードの契約をしていた
- お金を貸してといわれると貸してしまい、返してもらえない。
代金も同じことを繰り返す
- お金を借りて返さないため友人同士でトラブルになっている
- グループで特定の人がいつもおごられているようだ
- 団体で旅行に行った際に、最初の立ち寄り地で小遣いを全部使ってしまう。
そのあと買い物できない人が多い
- 旅行で給付金にどんなお土産を買ったらいいかわからない

2020/03/12 鹿児島県福祉会

(1) 就学前～小学校低学年向け

「お買い物ゲーム」は、ひまわりマーケットというお店を作り、実際のお菓子やアイスクリームのパッケージ、文房具を用意し、子どもたちが保護者から離れて買い物をするものです。おこづかいをもらう、財布の中身を確認する、頼まれた買い物をする、品物を選ぶ、お店の人と話す、レジで並ぶ、買い物かごを片付ける、買ったものを保護者に見せるなど、一人一人が学ぶことがたくさんあります。見守る保護者の方にはお子さんの別の一面を発見する機会になったという感想がたくさんありました。残念ながらコロナ禍で中断したままになっています。【図3】

図3 小学校低学年向けお買い物ゲームの様子



(2) 放課後デイサービスを利用している小学生向け

令和6(2024)年夏休みの講座では、名古屋市消費生活センター作成の「おこづかいすごろくゲーム」を使いました。おこづかいを「ほしいもの・ひつようなもの・ちょきん」に分ける、募金をするかどうか考える、友だちにプレゼントをするなど色々な要素が含まれています。がんばっておこづかい帳にチャレンジする子もいました。【図4】

図4 おこづかいすごろくを使いながら
お金の勉強

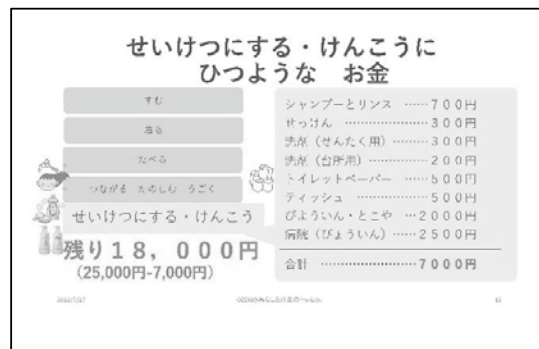
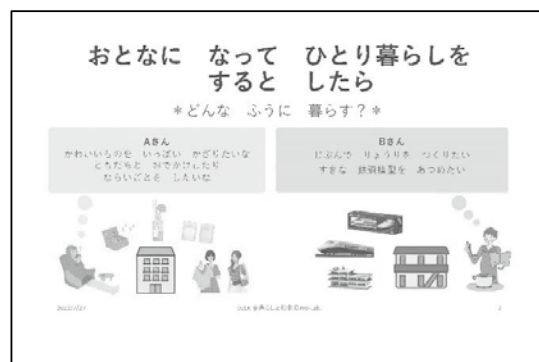


(3) 放課後デイサービスを利用している中学生・高校生向け

デイサービスの職員の方の「大人になって生活する際のお金のイメージを持っていないのが心配」という声から「ひとり暮らしをしたら収入でどうやりくりするか」を考えてもらいました。1回の食事にかかるお金に「3,000円!」という声がでるなど、生活費のイメージを持つのは難しいようです。模擬紙幣も使いながら「使うとお金が減る」「自由に使えるお金がいくら残るか」など、支援者も一緒になって考えました。

【図5】

図5 ひとり暮らしをしたらをテーマにした講座の一部(抜粋)



(4) 就労継続支援B型事業所でのお金の勉強会

ジョブサポートセンター being 桜山は、知的障害を持つ方の就労支援や職場定着支援、卒寮者の就労・生活支援を行なっている事業所です。関連施設にグループホームもあります。プロラボ設立以来、お金の勉強会を続けていてすでに10年近くになります。20代から60代のシニアまで年代の幅が広いのが特徴です。参加者にはお馴染みの顔も多く、毎回楽しみにしてくださっているようです。ここでは、事前に施設の中で「最近困っていることや起きているトラブル」をヒアリングして講座の中に取り入れています。「お金の貸し借り、おごる・おごられる」は毎回のように取り上げる問題ですが、「団体で旅行に行った際に、最初の土産物屋さんで小遣いを全部使ってしまったようにするには」などという課題もありました。

成人向けの講座では「断り方のロールプレイング」を皆さんに体験していただきます。お金の貸し借りやキャッチセールスなどのトラブルに巻き込まれないためには、「断る」というスキルが必要です。「お金を貸してと言われたら」「街頭でアンケートに答えてと言われたら」といったテーマでまずスタッフが実演し、次に参加者にやっていただきます。「断る」ことが苦手な方にも「断ることができた」という成功体験を持ち帰っていただきたいので全員参加です。なかなか断れない方に他の参加者から応援が入ったりして、座学にはない盛り上がりを見せます。

(5) 知的障害をもつ人の保護者向け

保護者向けの講座では、座学だけでなくできるだけグルーフトークの時間を設けています。子どもの年代や成長過程で出てくるさまざまな課題を話し合います。ファシリテーターとしてプロラボのスタッフやゲスト講師が各テーブル

に入りますが、先輩の保護者の経験談が参考になることが多く、われわれも毎回学ぶことばかりです。また、事前に質問を集めてテーマ別に分け、その問題に詳しい人にスタッフに入ってもらうこともあります。

ここ数年、育成会「くらす・まもる部会」での講座では、成人後の子どものお金と同時に親の老後のお金について考えることが多くなっています。いくつかの講座タイトルをご紹介します。【図6】

図6 成人した子と老後を迎える親それぞれのライフプランとお金について考える講座の一例（タイトルスライド）



【図7】で一部をご紹介している「生活支援ファイル」は、名古屋手をつなぐ育成会で作成されたものです。支援に必要なご本人の情報をご家族・支援者の間でシェアするためのツールとしてWebサイト上で公開されています。

<https://nagoyaikuseikai.or.jp/wp/wpcontent/uploads/2022/01/seikatusienfairu.pdf>

生活全般について記録できるファイルですが、シートブック7はお金について必要な記録がで

きるようになっています。「お金」はその人の人生観に関わるものであり、その人がお金についてどんな使い方をしたいかを知ることは支援に欠かせない視点です。筆者（尾関）自身も、成年後見人の立場から「その人のお金について」記録しておく必要性を強く感じています。支援ファイルを広く利用していただけることを期待しています。

図7 生活支援ファイルシートブック7を使った講座の一部（抜粋）

一般財団法人ゆうちょう財団活動助成事業
2022年12月8日 名古屋手をつなぐ育成会

知的障害のある人の金銭管理支援
「生活支援ファイルシートブック7 お金について」
を利用した金銭管理

NPO法人 暮らしとお金のPro-Lab.
尾関 さゆり

7-① 収入の状況

収入に関する資料
年金証書・年金定期便・各種手当の受け取り
工賃表（領収書代わり）・給与明細
源泉徴収票など

家族（父母、祖父母など）からの支援
贈与があれば「時期・金額・誰から」を記録

1. なぜお金の記録が必要なのか

- お金を使う際の意思決定は、誰のもの
- いつ 何を どこで どのように 選ぶ（買う）か
- 選んだ（買った）ものでどのように満足できたか
- お金についての過去の積み重ねで「今」の自分がある
- 親亡き後の、お金の管理

7-② 支出の状況

支出に関する資料
家計簿・おこづかい帳・家賃・光熱費領収書
各種領収書など

保険料
生命保険・医療保険
損害保険 自動車保険・傷害保険・
個人賠償責任保険など

3. 生活支援ファイル シートブック7の構成

7-③A 資産の状況

資産に関するもの
預貯金口座の種類（定期・普通・積立）
口座番号
引き落とししているもの
トラブル時の連絡先を忘れずに

保険
保険の種類
保険会社・支店名・代理店名・担当者名
保険証券の番号
契約者・被保険者・受取人
（本人が受取人になっている保険契約も）

7-④ ご本人とお金



- チェックシートの記録を添付するのよい
- 電子マネーやクレジットカードは枚数を増やさずに管理する
紛失、盗難の際の連絡先を記録する

暮らしとお金のPro-Lab. QTRX Sayari

お金のシートは財産目録になります

- 災害のとき、預貯金口座の情報と連絡先は、お金を引き出す際に役に立ちます
- 保険証券が揃っていれば、保険の請求が早くできます
- 障害のある子だけでなく、家族や、高齢の親戚さんの分も併せておくと災害や相続の際に役に立ちます

暮らしとお金のPro-Lab. QTRX Sayari

7-⑤ おこづかいについて



- おこづかいの使い方は、重要な情報
 - ・何が好き
 - ・何をかうのが好き
 - ・どこでかうのが好き
 - ・どんな買い方をするのが好き
 - ・選択するときの基準はなにか

暮らしとお金のPro-Lab. QTRX Sayari

5 これまでも、これからも

NPO 法人設立時の趣意書に私たちはこう記しました。「Pro-Lab. という名称には、暮らしとお金についての専門分野を『深く』、さらにネットワークをいかして『広く』活動をする工房でありたいという意味が込められています。私たちは、NPO 法人として、多重債務者や生活困窮者の家計管理支援と支援者の育成、障害を持つ人と家族のための暮らしとお金に関する支援、金融経済教育の担い手の育成などを通じ、一人ひとりが、必要な暮らしとお金のリテラシーを身につけ、自分の夢と将来を実現するよう、より良い社会の実現に貢献できるよう活動してまいります」

最後になりましたが、設立以来十余年にわたって活動を継続してこられたのは、ゆうちょ財団様の金融相談活動助成という大きく、息の長いご支援があってこそ、と心より感謝申し上げます。また今後もより多くの活動に広くご支援を賜りますようお願いいたします。

7-⑥ 携帯電話・スマートフォンについて



- ゲームでの借金（ガチャなど）で思いもよらない支払いをしていることがある
- 利用金額の明細が紙（郵送）だと有料になっていることが多い。ネットの明細は必ず毎月確認すること
- 「壊れた、紛失した」の時の連絡先、トラブルの相談先を書いておく
最近は相談もネット経由が多いので来店時も問合わせておく
- 契約書を保管する（ネット暗証番号等も記録）
- 消費生活センターや188なども書いておく

暮らしとお金のPro-Lab. QTRX Sayari

7-⑦ 家財道具管理リスト



- 販売店（購入したお店）と保証書・長期保証書なども一緒に保管する

暮らしとお金のPro-Lab. QTRX Sayari